

## 重電機器受注生産品 2021年度 第Ⅱ四半期(7~9月) 受注実績

JEMAでは、わが国の重電産業の景況を、需要者(業種)別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。

本ニュースリリースでは、「2021年度 第Ⅱ四半期(7~9月)」及び「上期(4~9月)」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

### 2021年度 第Ⅱ四半期(7~9月)の概要

第Ⅱ四半期の受注額は3,941億円(前年同期比93.6%)と前期の増加から転じて前年同期比減少となった。(※以下、前年同期比は「同」と略記)

内需は、製造業の回復は継続しているものの、非製造業は大口需要先の電力業の影響を受けて、減少に転じた。一方、外需は、7四半期ぶりに増加した。

#### 【需要者別動向】

◆内需は3,002億円(同91.3%)と、前期の増加から転じて減少となった。

- ・製造業は701億円(同117.0%)と、3四半期連続の増加となった。主要需要先で見ると、繊維・化学・窯業・土石は減少となったが、鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信、自動車は増加となった。

- ・非製造業は1,718億円(同85.4%)と、前期の増加から転じて減少となった。運輸業・郵便業・通信業は6四半期連続の減少となった。また、大口需要先である電力業は前期の増加から転じて減少となった。

- ・官公需は555億円(同86.9%)と、11四半期ぶりの減少となった。大口需要先である地方公務は8四半期ぶりの減少となった。

◆外需は939億円(同102.0%)と、7四半期ぶりの増加となった。

#### 【製品別動向】

- ・交流電動機、電力変換装置は増加となった。

- ・発電機、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置は減少となった。

### 2021年度 上期(4~9月)の概要

2021年度上期の受注額は、7,716億円(同101.8%)と、3半期ぶりの増加となった。

◆内需は6,069億円(同102.6%)と、3半期ぶりの増加となった。

◆外需は1,647億円(同98.7%)と、3半期連続の減少となった。

#### 重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

##### ■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。

- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

##### ■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

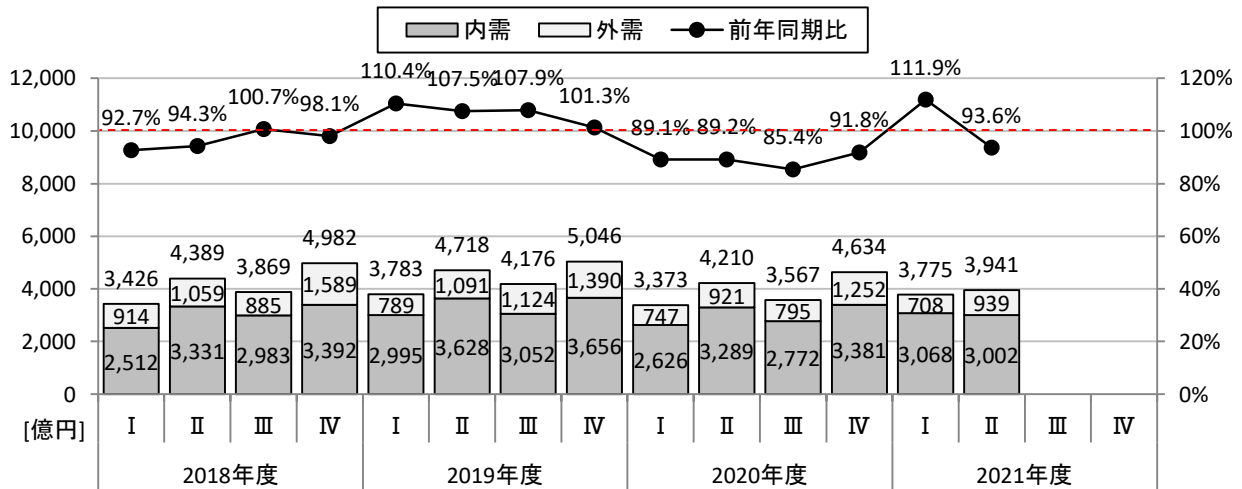
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

##### ■公表の種類

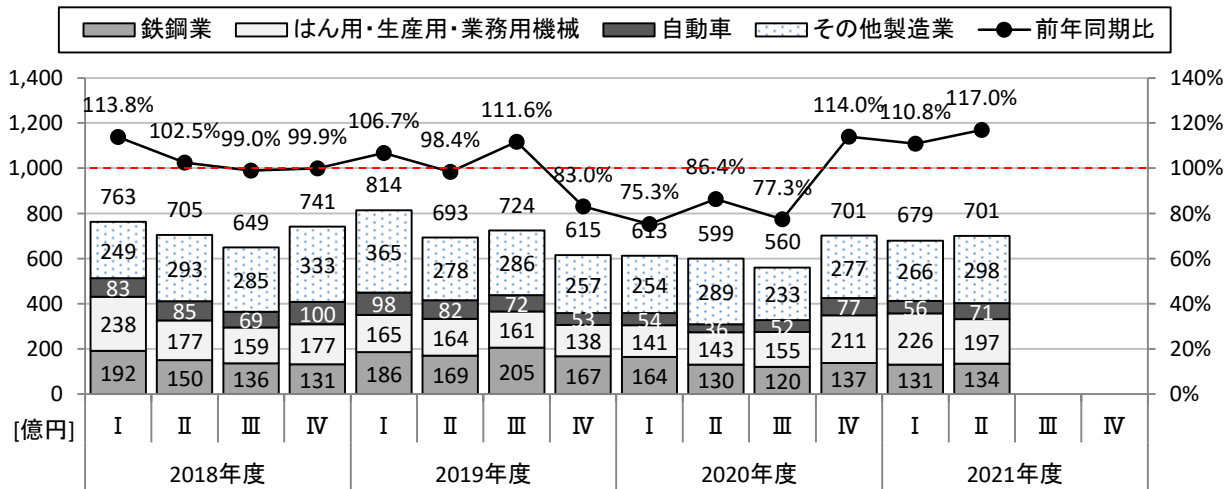
JEMA会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

## 四半期実績の推移

### 重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



### 内需の内訳(製造業)



### 内需の内訳(非製造業)

